



学校だより

かけ橋

パート V

横須賀市立汐入小学校 校長室

2015. 11. 27

No. 15

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

大人の知らない子どもの世界

子どもたちと一緒に給食を食べた時、「どんなテレビをんでいますか？」という質問に、何人かが、「ユーチューブ」と答えていました。「へー、今はそうなんだ。」と感心していましたが、よく考えてみると、「ユーチューブ」には、様々な映像や情報が流れています。子どもが、少し興味を示すと、有害な映像を見ることができます。また、何も操作しなくても、自動的に様々な映像を流したりもします。

また、携帯メールによるいじめや仲間はずれなどの事例も聞きます。最近では、ゲーム機がインターネットとつながっているため、ゲームをしていると思ったら、有害サイトを見ていたり、なりすましメールを送っていたりという話も聞きます。

子ども時代は、実体験を多く経験させる時期だと思います。その貴重な時期

に、携帯やスマホに関わるバーチャルな経験で子どもの時間を多くさいってしまうのは、とてももったいないことだし、危険なことだと思います。

各家庭で、パソコンやスマホの利用について、お子さんとしっかりと話し合い、**利用時間や利用場所を決める、9時以降は使わないなどの具体的なルール**を決めて利用するようにしてほしいと思います。



お天気に恵まれ、多くの方にご来校いただいた汐っ子まつり。
学校のHP (PTAのページ) に写真がアップされています。ぜひご覧ください。

前回に続き、いじめについて

日本教育新聞に、「いじめから子どもを守る 親にしかできないこと」と題して、次のような記事が載っていました。一部引用しながらご紹介します。

いじめられている子どもが、大人に相談しない理由は二つ。一つは、「親が心配するから」親に心配かけたくないのです。もう一つは、「いじめられていることを人に知られたくないから」自分は、いじめられるほど情けない人間だと思われたくないのです。でも、言えない代わりに、サインを出し続けています。

そこで、親にしかできないこととして、気付いてあげることがあります。そのために、「いじめ発見チェックシート」が紹介されています。10の観点のうち三つ以上当てはまれば、要注意。半分以上当てはまればいじめを受けていると考える必要があります。**今は大丈夫でも、この先何があるかわかりません。** そんなとき、この観点を思い出してほしいと思います。

- ①登校時に体の不調を訴え、登校を渋るようになった。
- ②理由のはっきりしない衣服の汚れや破れが見られるようになった。
- ③理由のはっきりしないあざやけが（殴られた跡）がある。
- ④持ち物（学用品や所持品）がなくなったり、壊されたりしている。
- ⑤今までより外出をさけるようになる。
- ⑥部屋に閉じこもりがちになる。
- ⑦家族との会話が減ったり、学校の課題を意図的に避けたりする。
- ⑧いじめの話をするとう強く否定する。
- ⑨仲が良かった友だちとの交流が極端に減り、友達からの電話に出たがらなくなる。
- ⑩お金の使い方が荒く、無断で持ち出すようになる。